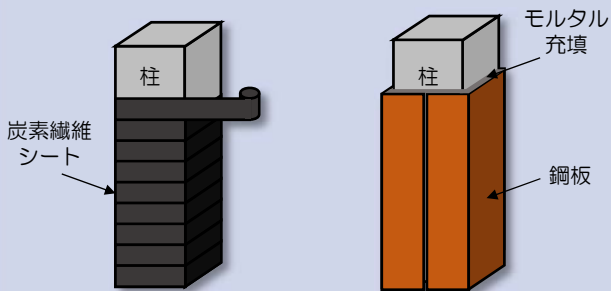


# 耐震工法の紹介

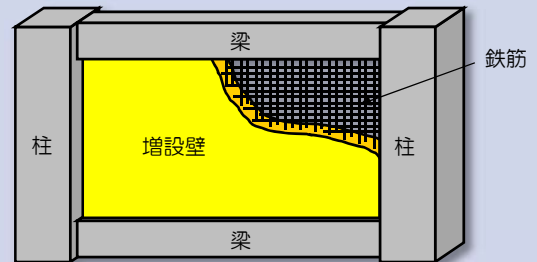
一般的な耐震補強の工法を紹介します（その他にも様々な工法があります）※1。  
建物ごとの状況を踏まえ、耐震改修設計の際にどの工法が適切か設計者が判断し、  
耐震改修の計画を立てます。設計者に建物の利用上の制限や要望をしっかりと伝え、  
補強方法に十分納得したうえで設計を進めることが重要です。

## 柱巻き付け補強



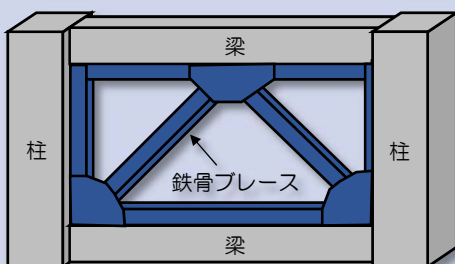
炭素繊維シートや鋼板を柱に巻き付けて補強する工法です。使用上の影響が少ない工法です。

## 増設壁補強



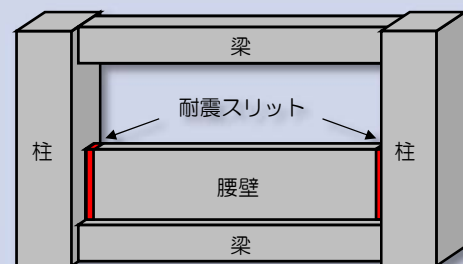
鉄筋コンクリート造の耐力壁を増設して補強する工法です。

## 鉄骨ブレース補強



鉄骨ブレースを設置して補強する工法です。増設壁補強に比べて採光・通風の確保がしやすい工法です。

## 耐震スリット補強



柱に取付く腰壁やそで壁と柱の間にスリット（隙間）を設ける工法です。一般的に他の補強工法とあわせて行います。

※制震工法（制震ダンパーにより地震力を吸収する方法）や  
免震工法（免震装置により地震力を低減する方法）という技術もあります。